

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和4年5月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 ..... I - 1
- 2. 工事の実施状況 ..... I - 3
- 3. 調査結果の概要 ..... I - 4

## II 事後調査結果

- 1. 大気質 ..... II - 1
- 2. 水質 ..... II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和4年5月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	5月1日~31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	5月10日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

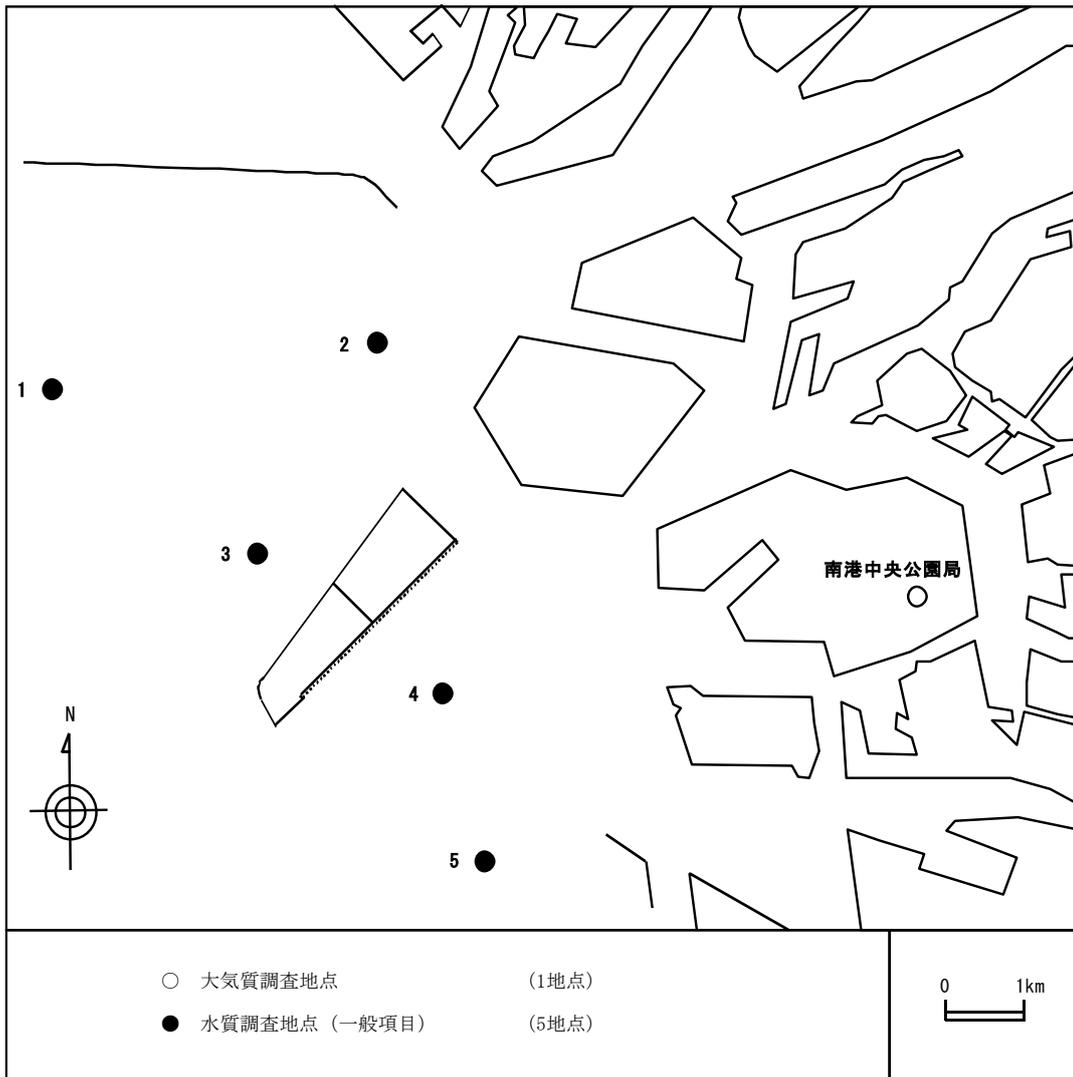
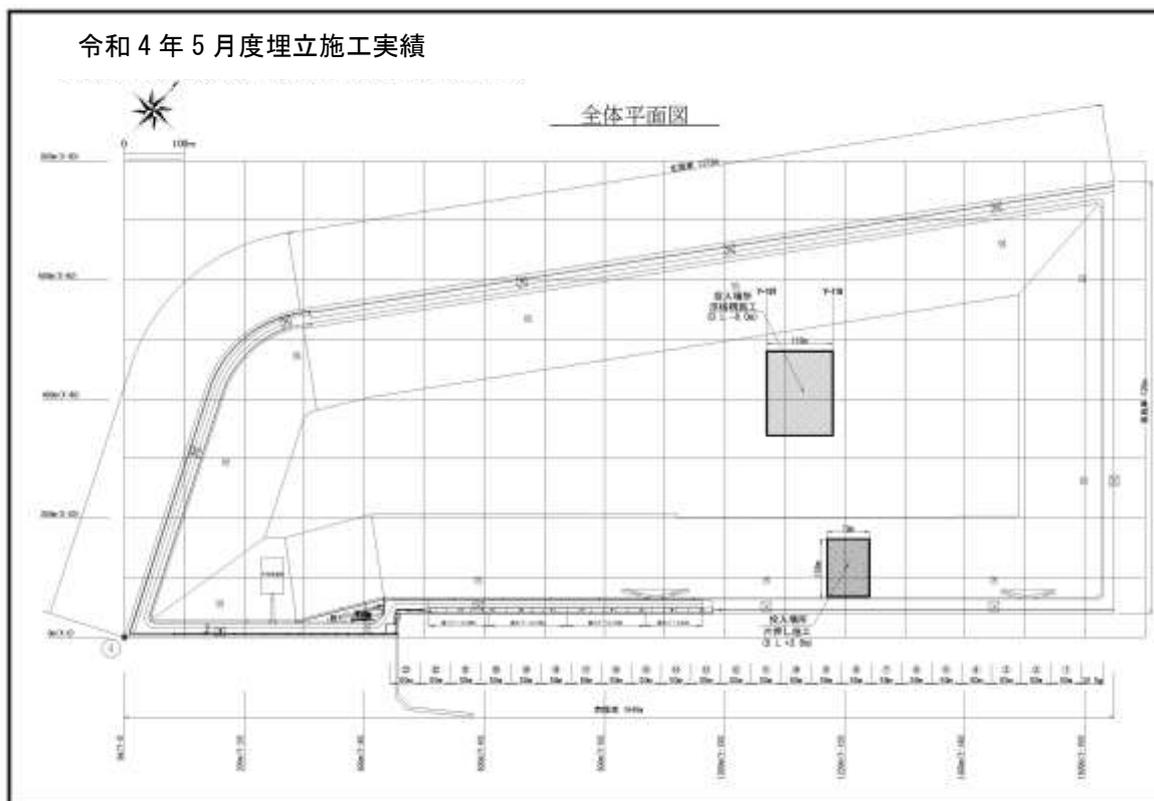


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

## 2. 工事の実施状況

令和4年5月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率(%)
6,539,249	46.8

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.006ppmであった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.011ppmであり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.019ppmであった。また、日平均値の最高値は0.040ppmであり、環境基準値以下であった。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.016mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.027mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.037mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.2～8.3、下層で全地点8.1であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で4.2～5.7mg/L、下層で2.1～2.2mg/Lの範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点1 (4.7mg/L)、調査地点2 (5.7mg/L)、調査地点3 (4.4mg/L)、調査地点4 (4.2mg/L) 及び調査地点5 (5.6mg/L) であった。一部の調査地点では事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成12年度) の1.6～4.9mg/Lを超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたってCODが環境基準を上回っていたため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で8.5～9.7mg/L、下層で7.4～7.9mg/Lの範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.41~0.52mg/L、下層で 0.13~0.23mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.020~0.072mg/L、下層で 0.011~0.064mg/L の範囲にあり、上層では過半数の調査地点において、下層では一部の調査地点において、環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2(0.059mg/L)、調査地点 4(0.055mg/L) 及び調査地点 5 (0.072mg/L)、下層の調査地点 5 (0.064mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2~3 度(カリン)、下層で 2~5 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 6~8mg/L、下層で 4~8mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 11~22µg/L、下層で 0.3~1.2µg/L の範囲であった。

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全燐（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。



## II 事後調查結果



大気質測定結果総括表 [令和4年5月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	1
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和4年5月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	
日	1 (日)	0.004	0.005	
	2 (月)	0.006	0.009	
	3 (火)	0.006	0.007	
	4 (水)	0.006	0.007	
	5 (木)	0.006	0.007	
	別	6 (金)	0.006	0.007
		7 (土)	0.006	0.008
		8 (日)	0.006	0.007
		9 (月)	0.006	0.008
		10 (火)	0.007	0.009
値		11 (水)	0.007	0.009
		12 (木)	0.007	0.008
		13 (金)	0.006	0.007
		14 (土)	0.004	0.006
		15 (日)	0.005	0.008
	16 (月)	0.006	0.008	
	17 (火)	0.006	0.008	
	18 (水)	0.006	0.007	
	19 (木)	0.006	0.008	
	20 (金)	0.007	0.011	
有 効 測 定 日 数 (日)	21 (土)	0.005	0.006	
	22 (日)	0.005	0.007	
	23 (月)	0.005	0.006	
	24 (火)	0.005	0.005	
	25 (水)	0.005	0.006	
	26 (木)	0.005	0.006	
	27 (金)	0.005	0.006	
	28 (土)	0.006	0.009	
	29 (日)	0.007	0.009	
	30 (月)	0.006	0.007	
	31 (火)	0.005	0.006	
有 効 測 定 日 数 (日)		31		
測 定 時 間 (時間)		741		
月 平 均 値 (ppm)		0.006		
日平均値の最高値 (ppm)		0.007		
1時間値の最高値 (ppm)		0.011		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和4年5月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (日)	0.001	0.002
	2 (月)	0.002	0.003
	3 (火)	0.002	0.004
	4 (水)	0.002	0.003
	5 (木)	0.002	0.002
	6 (金)	0.002	0.005
	7 (土)	0.002	0.006
	8 (日)	0.001	0.002
	9 (月)	0.003	0.006
	10 (火)	0.003	0.006
別	11 (水)	0.003	0.010
	12 (木)	0.006	0.017
	13 (金)	0.015	0.040
	14 (土)	0.006	0.027
	15 (日)	0.001	0.002
	16 (月)	0.006	0.021
	17 (火)	0.010	0.034
	18 (水)	0.006	0.018
	19 (木)	0.003	0.009
	20 (金)	0.008	0.057
値	21 (土)	0.002	0.002
	22 (日)	0.002	0.003
	23 (月)	0.002	0.003
	24 (火)	0.002	0.006
	25 (水)	0.003	0.006
	26 (木)	0.002	0.004
	27 (金)	0.002	0.004
	28 (土)	0.002	0.003
	29 (日)	0.002	0.004
	30 (月)	0.003	0.004
	31 (火)	0.002	0.006
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.015	
1時間値の最高値 (ppm)		0.057	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和4年5月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.006	0.010
	2 (月)	0.011	0.021
	3 (火)	0.012	0.029
	4 (水)	0.012	0.021
	5 (木)	0.011	0.019
	6 (金)	0.018	0.033
	7 (土)	0.018	0.041
	8 (日)	0.004	0.010
	9 (月)	0.021	0.037
	10 (火)	0.024	0.050
別	11 (水)	0.027	0.049
	12 (木)	0.025	0.036
	13 (金)	0.026	0.042
	14 (土)	0.014	0.024
	15 (日)	0.012	0.027
	16 (月)	0.025	0.042
	17 (火)	0.039	0.062
	18 (水)	0.035	0.054
	19 (木)	0.026	0.040
	20 (金)	0.040	0.074
値	21 (土)	0.017	0.039
	22 (日)	0.013	0.037
	23 (月)	0.018	0.040
	24 (火)	0.019	0.040
	25 (水)	0.020	0.036
	26 (木)	0.018	0.026
	27 (金)	0.015	0.023
	28 (土)	0.017	0.043
	29 (日)	0.015	0.043
	30 (月)	0.022	0.039
	31 (火)	0.017	0.032
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (ppm)		0.019	
日平均値の最高値 (ppm)		0.040	
1時間値の最高値 (ppm)		0.074	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		1	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和4年5月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (日)	0.007	82.7	0.012
	2 (月)	0.012	87.2	0.023
	3 (火)	0.013	87.3	0.033
	4 (水)	0.013	87.0	0.023
	5 (木)	0.012	87.5	0.021
	6 (金)	0.020	89.1	0.038
	7 (土)	0.020	89.0	0.047
	8 (日)	0.005	80.3	0.012
	9 (月)	0.023	88.4	0.042
	10 (火)	0.027	89.9	0.054
別	11 (水)	0.030	89.7	0.054
	12 (木)	0.032	80.2	0.052
	13 (金)	0.041	63.6	0.082
	14 (土)	0.019	69.9	0.047
	15 (日)	0.014	90.0	0.029
	16 (月)	0.031	81.0	0.055
	17 (火)	0.049	80.1	0.090
	18 (水)	0.041	86.1	0.065
	19 (木)	0.028	90.7	0.048
	20 (金)	0.048	84.0	0.124
値	21 (土)	0.019	90.8	0.041
	22 (日)	0.015	87.7	0.040
	23 (月)	0.020	90.8	0.042
	24 (火)	0.021	89.2	0.046
	25 (水)	0.022	88.5	0.041
	26 (木)	0.021	88.4	0.030
	27 (金)	0.017	87.7	0.026
	28 (土)	0.019	89.6	0.046
	29 (日)	0.017	88.2	0.047
	30 (月)	0.024	90.7	0.043
	31 (火)	0.019	35.6	0.038
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		741		
月平均値 (ppm)		0.023		
日平均値の最高値 (ppm)		0.049		
1時間値の最高値 (ppm)		0.124		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		85		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$\frac{(\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)} / (\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和})$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和4年5月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (日)	0.009	0.014
	2 (月)	0.013	0.015
	3 (火)	0.012	0.017
	4 (水)	0.015	0.020
	5 (木)	0.015	0.019
	6 (金)	0.016	0.024
	7 (土)	0.015	0.022
	8 (日)	0.007	0.014
	9 (月)	0.009	0.014
	10 (火)	0.010	0.017
別	11 (水)	0.010	0.016
	12 (木)	0.010	0.020
	13 (金)	0.009	0.019
	14 (土)	0.010	0.024
	15 (日)	0.013	0.022
	16 (月)	0.017	0.024
	17 (火)	0.024	0.033
	18 (水)	0.027	0.037
	19 (木)	0.019	0.026
	20 (金)	0.023	0.034
値	21 (土)	0.021	0.029
	22 (日)	0.023	0.035
	23 (月)	0.018	0.031
	24 (火)	0.019	0.033
	25 (水)	0.026	0.035
	26 (木)	0.020	0.035
	27 (金)	0.013	0.021
	28 (土)	0.020	0.029
	29 (日)	0.021	0.027
	30 (月)	0.017	0.025
	31 (火)	0.009	0.018
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.016	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.027	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.037	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和4年5月分]

測定局		南港中央公園				
項目		風速			最多風向 16方位	
		平均風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 16方位		
日	1 (日)	0.5	1.3	NNW, NNE	NW	
	2 (月)	0.7	1.6	SW	WSW	
	3 (火)	0.6	1.7	W	W	
	4 (水)	0.9	2.5	W	WNW	
	5 (木)	0.8	1.7	W	WNW	
	6 (金)	0.8	1.7	ESE	W	
	7 (土)	0.7	1.7	N	W	
	8 (日)	1.0	1.6	NNE	N	
	9 (月)	0.9	1.7	SE, ESE	NE	
	10 (火)	0.7	1.5	WSW	NNE	
	別	11 (水)	0.5	1.4	W	WNW
		12 (木)	0.7	2.0	E	NE
		13 (金)	0.4	1.0	E	NE
		14 (土)	0.7	1.4	W	NNE
		15 (日)	0.4	1.1	E	E
16 (月)		0.5	1.3	WSW	W	
17 (火)		0.3	1.2	W	W	
18 (水)		0.5	1.3	W	WNW	
19 (木)		0.6	1.3	W	WSW	
20 (金)		0.5	1.0	WSW	WSW	
値		21 (土)	0.7	1.6	NE	ENE
		22 (日)	0.8	1.6	WSW, W	W
		23 (月)	0.6	1.2	W	W
		24 (火)	0.7	1.7	WSW, W	WSW
		25 (水)	0.8	2.4	W	NW
	26 (木)	0.7	1.3	W	WNW	
	27 (金)	0.9	2.0	WSW	WSW	
	28 (土)	1.0	2.1	WSW	W	
	29 (日)	0.7	1.2	WSW, W	W	
	30 (月)	0.6	1.1	WNW	WNW	
	31 (火)	0.7	1.4	NE	W	
測定時間 (時間)		744				
月平均風速 (m/s)		0.7				
月最大風速 (m/s)		2.5				
月最多風向 (16方位)		W				

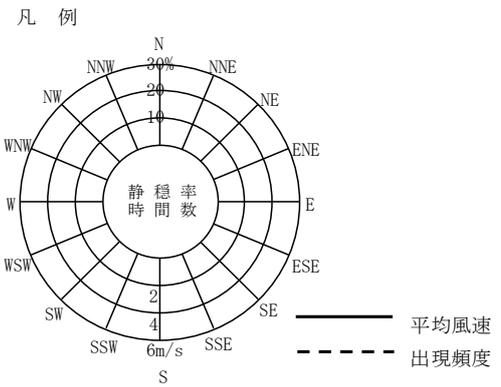
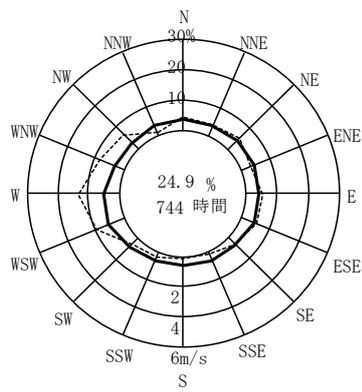
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和4年5月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	31	40	23	38	38	19	7	3	13	19	73	98	63	51	10	33	185	744
頻度 (%)	4.2	5.4	3.1	5.1	5.1	2.6	0.9	0.4	1.7	2.6	9.8	13.2	8.5	6.9	1.3	4.4	24.9	-
平均風速 (m/s)	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	1.1	1.0	0.7	0.6	0.8	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和4年5月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和4年5月分〕

調査日：令和4年5月10日

項目	調査点	調査点					最小値	～	最大値	平均値
		1	2	3	4	5				
時刻		8:33	8:15	8:56	8:56	8:34		-		-
透明度	[m]	1.6	1.5	1.6	2.0	1.8	1.5	～	2.0	1.7
水温	[°C]	15.8	15.9	15.6	16.1	15.8	15.6	～	16.1	15.8
		15.6	15.4	15.6	15.9	16.0	15.4	～	16.0	15.7
塩分	[-]	28.3	29.8	30.2	29.7	30.9	28.3	～	30.9	29.8
		32.8	32.7	32.7	32.7	32.7	32.7	～	32.8	32.7
濁度	[度(カリン)]	2	2	2	3	3	2	～	3	2
		5	2	2	5	4	2	～	5	4
浮遊物質 (SS)	[mg/L]	7	8	6	6	7	6	～	8	7
		8	5	5	7	4	4	～	8	6
水素イオン濃度 (pH)	[-]	8.3	8.2	8.2	8.2	8.3	8.2	～	8.3	-
		8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	4.7	5.7	4.4	4.2	5.6	4.2	～	5.7	4.9
		2.2	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1	～	2.2	2.1
溶存酸素量 (DO)	濃度	9.2	9.2	9.6	8.5	9.7	8.5	～	9.7	9.2
	[mg/L]	7.9	7.8	7.4	7.8	7.9	7.4	～	7.9	7.8
	飽和度	111	112	116	104	118	104	～	118	112
		[%]	97	95	91	96	98	91	～	98
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.52	0.46	0.43	0.45	0.41	0.41	～	0.52	0.45
		0.23	0.18	0.16	0.13	0.14	0.13	～	0.23	0.17
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.036	0.059	0.020	0.055	0.072	0.020	～	0.072	0.048
		0.023	0.015	0.020	0.011	0.064	0.011	～	0.064	0.027
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	22	16	14	13	11	11	～	22	15
		0.6	0.5	1.2	0.3	0.5	0.3	～	1.2	0.6

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------